

<〇〇町災害ボランティア支援本部>

〇〇町総合センター(〇〇町役場南側)に設置しました!

【被害状況】

〇〇町は県下有数の軟弱地盤となっており、……………。
 〇〇町内は震度6強から7の揺れが発生し、約△△△棟の建物被害がある。

【本部運営状況】

現在、〇〇町災害ボランティア支援本部は、町と社協が連携し町が設置し、……………
 ……………。
 今後は、ボランティアに対する需要の把握、活動内容の指示等を行う予定である。

【アピールポイント】～こんなことがお手伝いできます～

県外団体★★★★が支援に来てくれた!

～『助け合い隊』が動き出します～

<出来ること>

*人的支援

ボランティアバスを運行してボランティアを定期的に送り込むことができる。

*イベント実施

被災者向けに自分たちで資機材を持ち込み、足湯やサロン活動を主催することができる。

県外団体●●●●が支援に来てくれた!

～『お手伝いし隊』が動けます～

<出来ること>

*物的支援

常時よりストックしているため、ボランティア活動に必要な資機材の提供が可能。

- ・一輪車 50台
- ・シャベル丸・角 各200本
- ・バケツ 200個

まだ足りない!

長期的支援者大歓迎!

【助けてポイント】～こんなことがまだ不足、協力をお願いします～

●ボランティア支援本部を助けてくれる方(運営補助、炊き出し等)募集!!

●食糧(アレルギー対応食糧含む)やボランティア活動に必要な物資(土嚢袋等)募集!!

《《新聞の作成作業について》》 (案)

※県内市町参加者の事前課題「ワークシート県内課題2」からそれを補い、高め合える県外参加者とマッチングできている状態で、県内市町参加者と県外参加者が合同でその市町の災害V本部として作成するものです。

※まずは、情報共有をしてください。マッチングできた県内市町参加者と県外参加者は、自分たちは何ができていて、何に困っているのか、平時はどんな活動をしている団体なのか等、同じ市町災害V本部を運営、支援していく仲間として、お互いを知り合ひましょう。

1、いつを基準にした新聞なのか

→災害発生直後から3か月間を想定します。（「ワークシート県内課題2」の想定と同様）

2、誰を対象にした新聞なのか

→被災者に災害V本部をアピールするものです。

「こんなことがお手伝いできます」と大いにアピールしてください。

→県外などの支援団体に災害V本部の支援の充足状況、不足状況をアピールするものです。

「こんなことがまだまだ不足、協力をお願いします」と大いに呼び込みましょう。

3、何を記載するべきか

→**新聞イメージ・例**では、上記2の2点をアピールするために、【アピールポイント】と【助けてポイント】として記載し、それ以前にまず各市町の【被害状況】がどのような状況だったのか、また現在の【本部運営状況】を周知してみました。特に、「この団体とつながることができたので、ここができるようになった。しかし、この点ではまだ支援がほしい」ということを県内市町参加者と県外参加者が合同で考え、共有することが重要です。

※基本的に、上記2の2点をアピールできれば何を記載しても自由です。

※模造紙を使用し、1枚にまとめてください。